

職員による自己評価

保護者による評価

A環境面

- ・個別対応ができる個室があると良い。
- ・玄関を入ってからの導線があるとよい。

B児童への支援内容

- ・支援計画に基づいて行っている。

C関係機関との連携

- ・相談機関、教育関係機関等のニーズに合わせている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・面談時や送迎時に顔を見て話が出来ている。
- ・支援計画作成時やペアレントトレーニング開始前に説明をおこなっている。

E非常対応

- ・月に一回を目安に避難訓練を実施。

A環境面

- ・帰り待ちの際にドアで手を挟まないか心配。

B児童への支援内容

- ・概ね満足。

C事業所からの情報発信

- ・月に1回のお便りがあり活動内容や写真を見ることができる。
- ・帰りの申し送りの際に、その日の様子を伝えてくれる。

D非常対応

- ・概ね満足。
- ・保護者も参加する訓練はない。

事業所内での分析

【共通点】

・支援内容については、保護者との面談を参考にミーティングにてスタッフ間で話し合い、個別支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っている。保護者との共通認識が持てている。

【相違点】

・お迎えを待っている利用児がドア近くにいることが多く、ドアの開閉時に手を挟む等のケガをしないか心配の声が上がった。ゲートを設置するなど安全面の見直しが必要だと感じた。

・非常対応は月に一度、避難訓練を実施している。今年度はコロナ禍ということで防災センターでの震災体験はできなかった。

また、保護者参加型の訓練がないのご意見をいただいた。今後、保育所等で行われているような災害時の引き渡し訓練の実施を考えていきたい。

